

国及び地方の長期債務残高

(単位:兆円程度)

	平成10年度末 (1998年度末) <実績>	平成15年度末 (2003年度末) <実績>	平成20年度末 (2008年度末) <実績>	平成29年度末 (2017年度末) <実績>	平成30年度末 (2018年度末) <実績見込>	令和元年度末 (2019年度末) <予算>
国	390	493	573 (568)	881 (832)	909 (854)	928 (875)
普通国債 残高	295	457	546 (541)	853 (805)	880 (825)	897 (844)
対GDP比	56%	88%	107% (106%)	156% (147%)	159% (149%)	158% (149%)
地方	163	198	197	196	196	194
対GDP比	31%	38%	39%	36%	35%	34%
国・地方 合計	553	692	770 (765)	1077 (1028)	1105 (1050)	1122 (1069)
対GDP比	105%	134%	151% (150%)	197% (188%)	200% (190%)	198% (189%)

(注)

- GDPは、平成29年度までは実績値、平成30年度及び令和元年度は政府見通しによる。
- 東日本大震災からの復興のために実施する施策に必要な財源として発行される復興債(平成23年度は一般会計において、平成24年度以降は東日本大震災復興特別会計において負担。平成23年度末:10.7兆円、平成24年度末:10.3兆円、平成25年度末:9.0兆円、平成26年度末:8.3兆円、平成27年度末:5.9兆円、平成28年度末:6.7兆円、平成29年度末:5.5兆円、平成30年度末:6.0兆円、令和元年度末:5.4兆円)及び、基礎年金国庫負担2分の1を実現する財源を調達するための年金特例公債(平成24年度末:2.6兆円、平成25年度末:5.2兆円、平成26年度末:4.9兆円、平成27年度末:4.6兆円、平成28年度末:4.4兆円、平成29年度末:4.1兆円、平成30年度末:3.9兆円、令和元年度末:3.6兆円)を普通国債残高に含めている。
- 平成29年度末までの()内の値は翌年度借換のための前倒債発行額を除いた計数。平成30年度、令和元年度末の()内の値は、翌年度借換のための前倒債限度額を除いた計数。
- 交付税及び譲与税配付金特別会計の借入金については、その償還の負担分に応じて、国と地方に分割して計上している。なお、平成19年度初をもってそれまでの国負担分借入金残高の全額を一般会計に承継したため、平成19年度末以降の同特会の借入金残高は全額地方負担分(令和元年度末で31兆円程度)である。
- 平成30年度以降は、地方は地方債計画等に基づく見込み。
- このほか、令和元年度末の財政投融资特別会計国債残高は92兆円程度。